

ひよっこりほん!

国府津中学校司書の比企（ひき）です。
本校5年目となり、昨年よりパワーアップした
図書室を目指し、日々奮闘したいと思います。
1年間どうぞよろしくお願ひいたします。



令和4年5月19日
国府津中学校図書室

学校司書 比企しずか

図書室 すでに満員御礼

1年生には4月13日に図書室の使い方のオリエンテーションを実施、これで
全学年が貸し出し可能となりました。これから本格的になる運動会の練習の
合間に、息抜きとして図書室もうまく利用してもらえたらと思います。



2・3年生は ここでおさらい

貸出はひとり2冊、1週間まで。返却期限は守ってください

延長を希望する時には必ず1度カウンターに来て、再貸出しの手続きを
してください。予約している人がいなければもう一度借りられます。

図書室でのNG読書はこれだ!!!!



① 直に床に座って読書

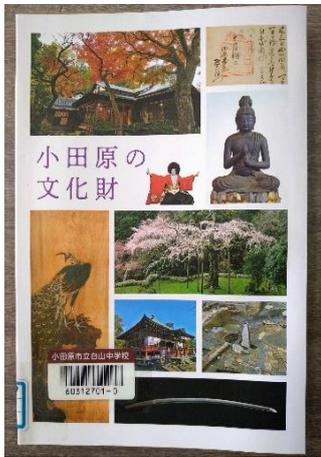


② 寝転がりながら読書



③ ハンモックを持ち込んで読書

寄贈本 いただいております。 感謝!



「小田原の文化財」(小田原市教育委員会 編集・発行)

平成4年3月発行。絵画・彫刻・工芸品のほか古文書や天然記念物についても詳しいデータとともに紹介されています。小田原の調べ学習にも大いに利用できるすばらしい1冊! 長く住んでいても、知らないことが多くあるものですね。

書店でも一般発売されています。が、そちらは表紙背景が白ではなく黒、だったような…(気のせい?)

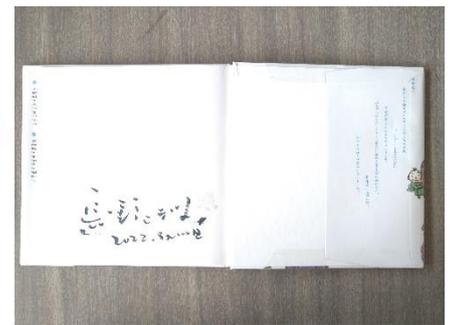
いろいろり 「外郎売」

(長野ヒデ子 絵
齋藤孝編・ほるぷ社)

こちらの寄贈本は、なんと!
長野ヒデ子氏のサイン入りです。
貴重な一冊、丁寧に扱ってね。



小学校時代に読みましたね。



なんとも芸術的な書体…✦

なつかしの・・・あるかしら文庫

じわじわ再ブーム中につき再展示中

3年生には見覚えのある表紙ではないでしょうか。一昨年にシリーズでそろえ、展示をしていました。

とりあえず何か借りたいけど、どれを選んだらいいか迷うぞ…という時にぴったり!サクッと読めて、後味さわやかスッキリ☆彡な小説が多いので、いろいろと選んで、読んでみてほしいと思います。

ヨシタケシンスケ氏の表紙がめじるし。
ひょうひょうとした味わいのある絵がかわいらしいですね。



勝手にアカデミー賞

今年も独断と偏見で、映像化された小説をたっぴいご紹介したいと思います。
今回は新しい本が届いておらず紹介ができないため、こちらのコーナーを充実させてみました😊

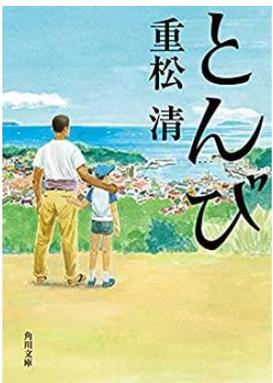
「元彼の遺言状」(新川帆立 著・宝島社)



「僕の全財産は、僕を殺した犯人に譲る」という遺言状を残し、大手製薬会社の森川栄治が死亡した。学生時代に一時交際していた弁護士・剣持麗子は、犯人候補に名乗り出た栄治の友人の代理人として、森川家の主催する“犯人選考会”に参加することに。しかし遺書が保管されていた金庫が盗まれ、栄治の顧問弁護士は何者かに殺害される。

2021年「このミステリーがすごい!」大賞作品。法律の専門用語も出てきますが、テンポが良いので一気に読め、読後は爽快感が味わえると思います。でも、大泉洋氏を見ると「鎌倉時代の人がいる…👁️」とってしまうのは私だけでしょうか。

「とんび」(重松清 著・角川書店)



昭和37年夏、瀬戸内海の小さな町の運送会社に勤めるヤスに息子の旭(あきら)が誕生。家族3人で幸せな生活を手にしたのも束の間、妻の美佐子は旭をかばって事故死をしてしまう。旭は不器用な父の元、周囲からの愛情をも一身に受けながら育てゆくのだが…。

昭和の香りが満載！そしてまさに重松清の定番！ともいえる物語ですが、これは若い世代にはピンと来ないかも知れませんね。映画では「親父が死ねばよかったんだよ！」と旭に言われた時のヤスの表情、辛すぎて見ていただけませんでした…

「名探偵コナン ハロウィンの花嫁」(水稀しま 著・小学館)



佐藤刑事の結婚式に招待されたコナンたち。しかし、式場に乱入した暴漢から佐藤をかばった高木刑事が負傷し、3年前の連続爆破事件が佐藤の頭をよぎる。同じ頃、脱獄したその爆破犯を追い詰めようとしていた降谷(安室透)は、仮装した謎の人物に首輪爆弾をつけられ…。

安定の面白さのコナンくん、今年も大活躍。小学生たちだけで劇薬が流れ出るのを止めようとするのは無謀では、という疑問の前に、犯人は劇薬の入った大量の風船をどうやって渋谷の街中に仕込んだのでしょうか？？尽きることのない突っ込み所は多いものの、最後にはズバッと解決&逮捕にいたるストーリーは気分爽快。

廊下には公開中や公開予定の映画広告などを貼り出しています。公開日を過ぎ1か月したものはがし、図書室入口近くのボックスに入れてありますので、ほしい人は昼休みの間に取りにきてください。一定間を過ぎたら廃棄していますので、お目当ての俳優の広告は、まめにチェックしておいてくださいね！



司書のひっき

「流浪の月」(岡良ゆう 著・東京創元社)



ある雨の夕方、10歳の少女・更紗がびしょ濡れになっているのを目にした大学生・佐伯文は、複雑な事情を抱える家に帰りたくないという更紗の気持ちを聞き、自分の部屋に連れてゆく。しかし更紗を2カ月間部屋に入れて過ごした文は、誘拐の容疑で逮捕されてしまう。被害女兒、加害者とされた2人は、15年後に思わぬ再会をすることに。

家で苦しい思いをしていた更紗にとって、文はまさに救いの神だったのでしょう。映画の予告編ではかなりドロドロとした物語展開の印象を受けますが、原作小説ではそこまで重さがなく、ラストもこれで良かったな、という感じです。

「ハケンアニメ！」(辻村深月 著・マガジンハウス)



アニメプロデューサー・有科香屋子は、天才アニメ監督と言われる王子千晴の大ファン。そんな香屋子が口説き落とし、ついに王子は9年ぶりにアニメの制作に挑む。同時期には新人監督・斎藤瞳とプロデューサーの行城理がタッグを組んだアニメも放送決定。果たして覇権は誰の手に？

アニメ制作の裏側の大変さが垣間見られるところが面白いです。3章から成る連作小説それぞれが関連し合い、ひとつの壮大な“お仕事小説”になっているという印象。好きなことを仕事にしてとことん突き詰めるって、すごいことですね。

「20歳のソウル」(中井由梨子 著・幻冬舎)



船橋市立船橋高校で吹奏楽部に所属し、トロンボーンを担当していた浅野大義。顧問の高橋健一先生に大きな影響を受け、野球部のために応援曲の作曲に挑戦。後に神応援曲と呼ばれた“市船 soul”を作り上げる。しかし高校卒業後、音大へ進学し夢に向かって努力をしていた大義は体に異変を感じるようになる。大義は癌に侵されていたのだ。

こちらは実話で、浅野大義さんは2017年に癌のため20歳の若さで逝去。すばらしい顧問の先生と部活の仲間たちに恵まれ、後世に演奏し継がれる曲を残した大義さん、今は天国でトロンボーンを吹いているのでしょうか…。涙、涙。